

平和の森公園再整備(案)が示されました



中野区HPより

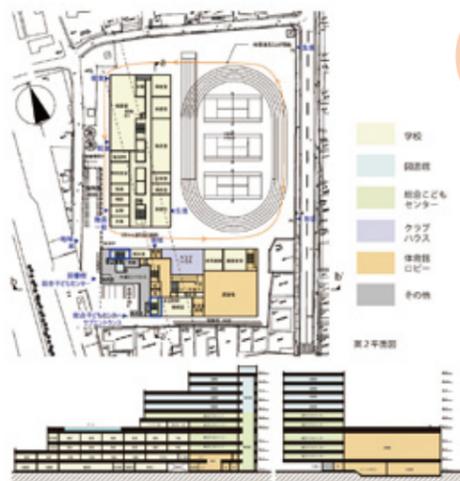
区民のスポーツ・健康づくりの場としての機能や憩いの機能、防災機能等、公園全体の機能向上を図るため、平和の森公園再整備基本計画を策定し基本設計(案)が示されました。「明るく安全でさらに憩うことのできる公園に整備せよ」「平和・文化発信の拠点に」「防災機能高め、安全・安心な公園に」「区民・地域に丁寧な説明を」と、求めて参りました。

区役所・サンプラザ地区再整備事業を締結



中野区HP事業協力が作成した提案概要書より

区は、区役所・サンプラザ地区再整備事業について、事業協力者に野村不動産株式会社代表企業とするグループを選定し協定を締結しました。再整備事業プランの概要によると、「街ブランド構築に向けた次世代のビジネス環境の創造」「日本初の民間運営によるスマートアリーナの整備」「街区再編とテーマ型エリアマネジメントによる街の融合・回遊」などが盛り込まれています。



中野区HPより

第三中学校・第十中学校統合新校等(中野坂上・中央1丁目)複合施設整備基本計画が示されました

統合新校校舎等整備は、現在の第十中学校を改築し、校舎・体育館・校庭とも充実しつつ、統合新校の校舎を整備します。中野坂上の交通利便性、交通結節点といった立地条件を踏まえ高層化による敷地の有効活用を図り、図書館や子ども家庭支援センター、教育センターが複合併設されます。

中野区の子な整備計画のスケジュール(予定のイメージ図です)										
	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度	37年度
区立3中・10中統合新校	計画	10中位置にて建設工事	竣工							
中野駅南口再開発	計画	建設工事	竣工	南口広場工事						
中野駅南口公社住宅	計画	建設工事	竣工							
平和の森多目的広場等	計画	整備工事		草地広場開設						
平和の森体育館	計画	建設工事	竣工							
新中野区役所	計画	建設工事	竣工							
区役所・サンプラザ再整備	計画			建設工事					竣工	

小林 ぜんいち



■ 議会役職等
公明党議員団副幹事長
議会運営委員会副委員長
区民委員会委員

■ 所属団体等
(社)日本建築学会正会員
(社)東京建築士会正会員
福祉住環境コーディネーター協会会員
マンションリフォームマネージャー
日本防災士会会員
早稲田大学稲門建築会会員
中野稲門会会員
中野区長野県人会副会長

■ 経歴
宮本忠長建築設計事務所東京事務所
16年勤務、TAF設計事務所勤務。
住宅・教育・医療・福祉・文化・宿泊・耐震等
設計監理や住宅設計等に従事。

Home Page
Facebook
Twitter

HOMEPAGE
ホームページ

小林ぜんいちオフィシャルWEBサイト
サイトURL
<http://kobayashizenichi.com/>
ブログURL
http://blog.goo.ne.jp/kobayashi_zenichi
Facebookは、小林ぜんいち または Zenichi Kobayashi
Twitterは、小林ぜんいち または @koba_zen

小林ぜんいち NEWS

— KOMEITO —
公明党

第21号
2016年11月発行
中野区公明党議員団

平成27年度の決算を審査する特別委員会が開催される

平成27年度の決算報告があり、決算特別委員会が設置され審査を行いました。決算の概要は、普通会計決算総額は、歳入(収入)総額が1,332億8千万円余、歳出(支出)総額が1,301億1千万余と、歳入歳出とも過去最高の決算額となりました。積立金現在高(区の貯金)は、592億円余で、積立金現在高から地方債現在高と債務負担行為額を引いた額は、前年度より250億円余の大幅な増となる235億円余となりました。基金(区の貯金)が特別区債(区の借金)を上回りました。景況感が反映された感はありますが、今後の行政課題を明確にし、計画的で効率的な財政運営と基金の積立に努めることを求めています。



公明党が取り組み前進した主な事業

子ども・子育て支援として

妊婦・出産・子育てトータルケアの実施
区立小中学生の連携強化及び学習サポート事業の推進
通学路防犯カメラ設置整備 など

高齢者や障害者施策の充実として

災害時避難行動要支援者の支援
町会・自治会活動の推進、支えあい体制の強化
高齢者総合窓口の設置
在宅療養支援センターの設置 など

活性化や安全のまちづくりとして

プレミアム付区内共通商品券の発行
中野Free-Wi-Fiの整備
応急給水用スタンドパイプの避難所への配備
防災機能を持った大規模公園の整備
弥生町三丁目・大和町地域の防災まちづくりの推進
西武新宿線沿線まちづくり連続立体交差事業 など

今後は、喫緊の課題である少子高齢化対策等社会保障費の増加、新体育館・新区役所等公共施設の再整備・建設、区内のまちづくり等への行政需要への備えを着実に図り、安定的な行政サービスを実施し区民の期待にこたえるための施策の展開と、持続可能な財政運営の強化を求めています。

中野区報がスマホ(マチイロ)で読めます



中野区ごみ分別(収集日お知らせ機能付き)アプリがリリースされました



臨時給付金のお知らせ

給付金のお知らせ

- 1 平成28年度 中野区臨時給付金(支給額) 対象者1人につき 3,000円
- 2 障害・遺族年金受給者向け給付金(支給額) 対象者1人につき 30,000円

【補償】平成28年12月28日(水)酒類有給

【問い合わせ先】中野区 臨時給付金担当課(庶務課7階)
電話 03(3228)6448(専用ダイヤル)【平日9時～17時】
FAX 03(3228)6042

中野区議会報告 平成28年 第3回 定例会 決算特別委員会 総括質疑



総括質疑(2016.09.20)

総括質疑項目

1.平成27年度決算について

- 1) 歳入・歳出等について
- 2) 義務教育施設整備基金につて

2. 中野のまちづくりについて

- 1) 区役所・サンプラザ地区再整備について
- 2) 国家戦略特区制度(民泊)について
- 3) 「だれでもトイレ」の対策について
- 4) 「だれでもトイレ」について

3. 保育園行政について

- 1) 待機児童対策への取り組みについて
- 2) 病児・病後児保育について

4. その他

- 1) 選挙権18歳からの選挙について

小林ぜんいち 平成28年 第3回定例会 決算特別委員会 総括質疑から

義務教育施設整備基金を 計画的に確保せよ

小林 整備方針に従って小・中学校の新築工事を行い、今後の60年を考えると、例えば、半分は基金を活用し、半分は起債に頼る、または、非常に負担が大きくなるが今後も基金で全て賄う、などが考えられます。区は、今後はどのような財政計画を立てていく考えか。

答弁 年度により、経費の差はあるが、基金及び起債について、同程度に活用することで、世代間公平を図ることを基本とし、毎年の予算編成で調整を行いたい。

小林 区は今後の義務教育基金の在り方をどのように考えているのか。

答弁 児童・生徒が安全で、学びやすい環境を提供していくために、小・中学校の校舎の増改築や学校再編にかかる大規模改修等が予定されている。予算編成時に「基準となる一般財源規模」を超過する一般財源がある場合は、積極的に義務教育施設整備基金に積み立てるとともに、残高を大きくすることが資金を確保する意味からも大変重要と考える。



「ゴミ屋敷」の対策に向け条例制定を

小林 私は以前から区が「ごみ屋敷」問題を、最終的に強制力を持って解決ができるよう対策を作るべきではないかと提案してきたが、検討状況はいかがか。

答弁 いわゆる「ゴミ屋敷」対策については、私有財産に一定の規制を設けることであり、慎重に検討する必要がある。現在、関連法令の規制内容を再検討しつつ、生活環境の阻害要因の排除、原状復帰の手段・手法等を中心に検討している。

小林 ゴミ屋敷の原因者には、認知症や精神疾患等、ゴミの堆積が解決しても、引き続き見守りが必要な方が多いように思われる。分野を超えて全庁的な横串的な取り組みと共に、警察、消防などとも連携し、一緒に取り組んで行く事が必要と考えるが。

答弁 原因者の状況や周囲への影響等、様々な状況があり、庁内はもとより、警察・消防等関係機関とも充分な連携を行って行く必要があると認識している。



「だれでもトイレ」の改善を

小林 近年は、障害者利用の車いすが障害に合わせて幅が広くなったり、座るだけでなく横たわれて長くなったり、また、タイヤの大きさも様々で、車いすが大きく変化してきている。介助者の人数やそのスペースを考慮した、「だれでもトイレ」の設置を進めるべきと考える。区有施設ではどこに有るのか。

答弁 区有施設は、東京都建築物バリアフリー条例に則って整備しており、現在102施設ある。主な施設としては、区役所の1階福祉売店、2階の防災センターの東側、7階のエレベーター前、その他の施設で商工会館、産業振興センター、中部すこやか福祉センター、弥生・鍋横区民活動センター、スマイル中野3階、四季の森公園、かみさぎこぶし園等に設置されている。

小林 障がいのある大人の方のオムツ交換などはできるのか。
答弁 大人のオムツ交換に対応出来るトイレは、区役所1階福祉売店となりと、かみさぎこぶし園に設置されている。

小林 現在のだれでもが利用できるトイレは、おむつ替えの必要な障害のある方には、床に自ら持参するシートなどを敷かないと使えない。区は今後予定される新体育館、新区役所、駅周辺の様々まちづくり計画、そして公園施設や区有施設の計画において、大人の障害者にも対応できるベッドを設置するなど「だれでもトイレ」を積極的に検討していく必要があると考えるがいかがか。

答弁 明確な指導基準がないので、指導範囲を広げることは難しいと考える。しかし、今後建設が予定される区立体育館や区庁舎などの区有施設に対しては、想定される高齢者、子どもから大人までの障害者等の施設利用にも配慮した設備計画となるよう、協議・指導を図っていきたいと考える。

小林 障がいのある方もない方も、年齢や性別、トランスジェンダーを含め対応のできるトイレの設置について、研修などの実施を通して施設を所管する各分野が理解を深めて頂き、LGBTに関する理解も深めたいと考えるがいかがか。

答弁 だれでもトイレなど施設整備への理解を深める取り組みを行い、LGBT等に関する理解を深めたいという施設整備は、区及び都の動向を注視し、ユニバーサルデザインの推進審議会等での議論を受けた上で、形となる様に取り組んで参りたい。



中野駅南口地区へ子育て施設の整備を

小林 私は「中野駅前住宅の建て替えにおいて、例えば保育園、病児・病後児保育室、一時保育など隙間を埋め助け合う保育事業の展開、児童館等の施設や異世代交流や相談の機能を有する施設など、他区に例のない特色ある子育て支援等の施設を、公社住宅に併設出来る様、地元自治体として住宅供給公社に提案・誘導すべく要望を」と、以前提案をさせて頂いた。

中野二丁目再開発事業が着手される中、子育て施設とまちづくりの連動として、中野駅南口に東京都住宅供給公社が整備を予定している住宅の中に、地域貢献のための施設として保育所等の子ども関連施設の設置が望ましいと考えるが、現在、どのような状況か。

答弁 公社からの意見照会に対し、中野駅周辺の子育て施設の状況等を踏まえ、認可保育所と子育てひろば事業の展開が可能な施設の整備について回答したところである。



病児・病後児保育の充実を

小林 働きながら子育てをする家族にとって頼りになる病児・病後児保育について提案をさせて頂き、発熱など病気になった児童や、病気の回復期に至るまでの子どもを一時的に預かる「病児・病後児保育施設」の整備が徐々に進んできていることを高く評価している。

区内では現在、病後児保育所を中央2丁目の区立仲町保育園、上鷲宮の聖オデリアホーム乳児院の2か所で実施しているが、その利用状況はいかがか。

答弁 平成27年度の利用は延べ466人であり、前年度と比較して大幅な増となっている。子どもの数や保育需要の増に伴い対象者が増加していることや、保育園等における事業周知が進んだことが影響しているものと考えている。

小林 江古田地域で始まる区内初となる病児・病後児保育の取り組みは、区民サービスの充実に資するものと考えているが、準備は計画的に進んでいるのか。

答弁 医療機関併設型の病児保育事業については、子ども・子育て支援事業計画に示した平成29年度の事業開始に向け準備を進めているところである。

小林 病児・病後児保育事業のニーズは保育需要の増等から更に高まることが予測されが、どのように考えているのか。

答弁 当面の間は、出生率や保育需要の増加傾向が見込まれる。こうした傾向を踏まえ動向を見極め、対応を検討して参りたい。

駅周辺などに期日前投票所を増やせ

小林 参議院議員選挙で18歳投票が行われた。若年層に対し選挙への関心を更に高めていく方策が必要と考える。今後どのような啓発活動を展開していくのか。

答弁 高等学校等で実施した模擬選挙や参加実践型の層啓発を、区内中学校でも展開するなど、教育委員会とも連携しながら、早い時期から進めたいと考える。

小林 中野区役所は駅前ということもあり極めて利便性の高い期日前投票所で、投票者数も毎年増加の傾向にあると聞く。今後は、例えば産業振興センターや中野サンプラザなど、中野駅周辺に期日前投票所を増やすなど、工夫をこらす時期に来ていると考えるが。

答弁 期日全投票所は区内6か所配置されており、一定の利便性は確保されていると考えている。期日前投票に対する区民の浸透度は高いから、今後も利用者は増大するものと見込んでいる。期日前投票所や当日投票所の利用状況等を更に調査しながら、これからの期日前投票所の有り方について、様々な角度から、選挙管理委員会で議論していきたい。

